

議会だより

6月定例会

町議会6月定例会は、6月10日(火)から25日(水)まで開かれました。14議案を審議し、すべて可決しました。主な議案は平成9年度一般会計補正予算や黒埼町国民健康保険条例の一部改正、一般廃棄物最終処分場第2期工事請負契約の締結などです。

請願は3件、陳情は2件提出され、すべて採択されました。一般質問には、6人の議員が立ち、新潟交通電車廃止問題や公的介護保険、行財政改革などを町長にたずねました。

日	内容
6月10日(火)	会期の決定、議案の上程…議案の説明・質疑・請願陳情の上程・質疑・委員会付託
6月11日(水)	総務文教委員会
6月16日(月)	厚生企業委員会
6月17日(火)	産業建設委員会
6月19日(木)	流域下水道推進特別委員会
6月20日(金)	一般会計予算審査特別委員会
6月23日(月)	一般質問
6月25日(水)	委員長報告・質疑・討論・採決(議案32~40)請願陳情の審査報告・質疑・討論・採決、議案の上程…議案の説明・質疑・討論(議案41~45)

議案

14議案を審議・可決

■黒埼町国民健康保険条例の一部改正について(議案第32号) 所得割額の税率「百分の7・5」を「百分の7・9」に改めるなど。

■黒埼町公営企業の設置等に関する条例の一部改正について(議案33) ガス事業の供給戸数「7、800戸」を「9、050戸」に改める。

■平成9年度黒埼町一般会計補正予算(第1回)(議案34) 歳入歳出とも1億6792万2千円を増額し、総額75億8792万2千円とする。

◎補正された主なもの

町道拡幅用地買収費1億2740万円、園芸施設化促進緊急対策事業補助金635万6千円など。

■平成9年度黒埼町地域汚水処理事業特別会計補正予算(第1回)(議案35) 歳入歳出とも130万円を増額し、総額1780万円とする。

■平成9年度黒埼町下水道事業特別会計補正予算(第1回)(議案36) 歳入歳出とも1億7344万円を増額し、総額12億1344万円とする。

■平成9年度黒埼町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)(議案37) 歳入歳出とも20万円を増額し、総額13億3145万3千円とする。

■平成9年度黒埼町老人保健特別会計補正予算(第1回)(議案38)

歳入歳出とも2198万1千円を増額し、19億2888万2千円とする。

■平成9年度黒埼町水道事業会計補正予算(第1回)(議案39) 平成9年度黒埼町ガス事業会計補正予算(第1回)(議案40) 黒埼町一般廃棄物最終処分場第2期(埋立地整備)工事請負契約の締結について(議案41) 工事業者は加賀田・新潟廣瀬特定共同企業体、請負額は3億4650万円とする。

■黒埼町一般廃棄物最終処分場第2期(浸出水処理施設建設)工事請負契約の締結について(議案42) 工事業者はアタカ工業株式会社東京支店、請負額は3億1899万円とする。

■黒埼町立山田小学校屋内運動場改築(建築主体)工事請負契約の締結について(議案43) 工事業者は福田・新潟廣瀬特定共同企業体、請負額は3億695万円とする。

請願

■郵政事業の現行経営形態維持に関する請願書(請願第5号) ※採択。意見書が総理大臣、郵政大臣に提出された。

■義務教育費国庫負担制度の現

陳情

■寺地団地西側排水路改良整備の早期実現についての陳情書(陳情第3号) ※採択

■「国有林の民営化に反対し、国有林の再生を求める意見書」の提出に関する陳情書(陳情4) ※採択。意見書が総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、林野庁長官、総務庁長官に提出された。

一般質問

(紙面の都合で要旨を掲載)

町政懇談会は

秋以降に実施

A議員 町政懇談会について ①開催時期と計画内容は町民参加の町政を目的として行い、地域住民の行政一般への要望や第4次総合計画、新潟市との合併問題における行政比較、合併建設計画の報告に対する意見も聞くべきと考えるがどうか

河内町長 ①町政懇談会は、町民の意見を直接聞ける場として重要性は十分に認識している。開催時期は秋以降、合併建設計画についても触れられたらと考える。

A議員 ②3月議会で、学校区単位で開催と言っていたが、範囲が広すぎるのではないかと

河内町長 ②1回の説明で十分理解頂けるとは考えていない。再度検討したい。

A議員 ③合併問題を中心に説明するのは

河内町長 ③町政懇談会なので、地域の諸問題もお聞きしたい。

電車廃止問題は

粘り強く交渉

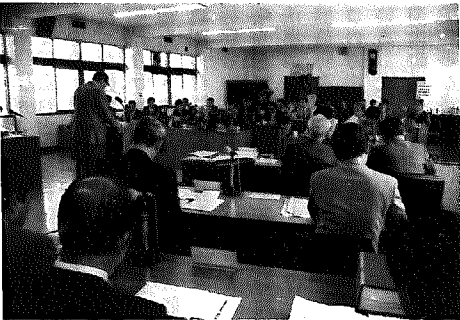
A議員 新潟交通電車廃止問題について ①新潟交通は、代替バスの運行を約束しているものの、廃止の態度を崩していない。今後の見通しと対策について

河内町長 ①中ノ口川沿線の7カ市町村で設立した新潟交通電車線系統対策協議会を中心に粘り強く交渉を続けたい。

A議員 ②もう少し突っ込んだ見直し、対策はないのか

土田企画商工課長 ②7月の下旬に2回目の対策協議会の幹事会を行うが、県にも出席をお願いし、新潟交通の決算内容等を検討したい。

A議員 ③第4次総合計画の交通体系の中で、新潟交通電車のJR駅乗り入れを関係機関へ強く要望しますとあるが、行える



河内町長 ④青森県の野辺地町のバス型の電車は、全国から鉄道ファンが殺到したことで、廃止の予定が1年間の休止と存続の検討となった。青森県の田舎館町の電車は、同町にある2路線の内の1本の存続を条件に廃止予定。青森県の津軽鉄道は、乗車運動を積極的に取り組んだので、会社も熱意におされ経営を継続。宮城県の大原鉄道は、累積赤字を会社負担、施設や株を関係町村に譲渡して3セクターとして存続する予定。福井県の京福電鉄は、沿線市町村が赤字を補てんし、駅周辺の駐輪場、駐車場の周辺整備を行うことで存続している。

公的介護保険は

要介護者の在宅施設サービス

B議員 公的介護保険について ①高齢者保健推進10年戦略と町の対応②当町における保険料納入対象者は③介護サービスはどのようなものが予想されるか

河内町長 ①いわゆる国のゴールドプランを受けて平成11年までの高齢者福祉計画として福祉プラン21を策定し、各施策に添った事業を進めている。現在、国は新たな高齢者介護システムとして公的介護保険制度を審議中であり、規則、要綱等が示されれば、事業計画を策定したい。

②詳細な内容が示されていないが、住民登録の数値からすると第1号被保険者は65歳以上3373人、第2号被保険者は40歳以上64歳未満8957人。③要介護者の在宅、施設サービス。

B議員 ④新しい制度を住民にどの様な形で説明するのか⑤公的介護保険の町の体制づくりは⑥特別養護老人ホームを含め施設の充実

外川住民福祉課長 ④国、県からの指導を基に、住民のコンセンサスを得たい。⑤保険料の徴収、要介護の認定、サービスと部門が分かれているので、税務課、住民福祉課、保健衛生課の中で体制をつくりたい。⑥国の基本的な方針に基づき介護保険計画をつくり、段階的に施設整備を行いたい。

B議員 ⑦町長は特別養護老人ホーム建設に前向きである。第4次総合計画では、基金積立は平成10年、11年からとなっているが、今年度から積めないのか

河内町長 ⑦年度末の決算期に出来るよう努力したい。

工業団地の無い市町村は

黒埼町だけ

B議員 企業誘致について ①過去10年間に於ける町の企業誘致の実態②条例の活用と今後の誘致にむけた基本的な考え方③新農村地域工業導入促進法等の制度を活用した工業団地造成の考えはあるのか

河内町長 ①誘致企業は、日本油化学工業(株)黒埼の2社である。また、当時の恵まれた地理的条件等の元に進出した企業も多い。町としては区画整理組合の育成や道路網の整備などで工業立地に努力してきた。②条例は、物の製造、加工並びに修理等の施設に適用となっているので、それら企業の立地条件の整備を検討したい。③市街化調整区域内の農地は、ほとんど農業振興地域、農用地域であるので、慎重に検討したい。

B議員 ④誘致企業である日本油化学工業が2年半前に業務を停止しているが、従業員の再雇用の相談等はあったのか⑤工場誘致条例は、製造業を目的としたものであるが、幅広く見直ししてはどうか⑥当町に工業団地を造成する場合の方法は制度的にどのようなものがあるのか⑦工業団地の整備についてどういう考えがあるのか

土田企画商工課長 ④倒産では